
使徒パウロが聖霊様によって書いています。

コロサイ3:15-17

- 15** キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのために、あなたがたも召されて一つのからだとなったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。
- 16** キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。
- 17** ことばであれ、行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。

私たちの理解を祝福して下さるように、共に神に祈りましょう。

愛する天のお父様、今朝、私たちに与えられている御言葉のゆえに感謝します。

けれども聖霊様が私たちを集中させ、それを保って下さらなければ、あなたが御言葉の中で用意して下さっているものを見逃してしまうことを、私たちは痛感しています。

私たちはあなたに飢え渴いているのでここにいます。あなただけが、この飢え渴きを満たす事ができます。ですから主よ、御言葉を通してお語り下さい。

イエス様の御名によって。アーメン。

今日は、「私たちクリスチャンはどのようにして、神の御心を知ることができるか」について語りたいと思います。「どのようにして神の御心を知ることができるのか？」は間違いなく、牧師である私が最も頻繁に聞かれる質問です。

幸いな事に今日の箇所は、「御心を知る3方面からのアプローチ」を提示してくれていますが、そこに入る前に言っておきたいのは、これは私の主との歩みにおいても助けとなっていて、その事は皆さんにとって大きな助けになると思います。

ものすごく大切なので、これだけは聞いておくべきですよ。「あなたが願う以上に、神はあなたが御心の中にいることを願っておられる。」別の言い方をすると、「神はあなたを、人生の本来の立ち位置や状況に必ず置かれる。それはあなたの益となるためであり、それがあなたに対する神の御心である。」

その事をここで見ます。私たちが御心を理解する事のないように、天の神が私たちと一緒にチェスをしているなんて一瞬たりとも思わないで下さい。神は、私たちが御心の中にいることを願っています。

神は私たちに、人生についての御心を知ってほしいのです。

御心を知る3方面からのアプローチ1) 「神の平安」

コロサイ3:15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。

Let the Peace of Christ rule in your hearts.

興味深い事に、パウロは初めに「Let /～させなさい」（許可する・妨げない）と言っています。

コロサイ3:16 キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。

let 16 The message of Christ dwell among you richly

実に2回も。

言い換えるなら、神の平安が私たちの心を支配する（Rule）のを許可する責任は私たちにある。

Rule（支配する）のギリシャ語は興味深くて、「レフリー・采配を振るう裁定者（アンパイア）」という意味を含んでいます。つまりパウロはここで、「正しいか間違っているか、良いか悪いか、フェアか反則か、内にいるか外に出ているかの重要な決断を、聖霊様というアンパイアが下されるようにしなさい。」と言っているのです。

言い換えるなら、私たちは聖霊様と神様だけが与えることのできる平安に、敏感にならなければならないということです。時に、その平安は説明がつかないものです。説明しましょう。

私たちの人生には状況が、何というか無秩序で、それどころか混乱、大混乱の時がありますね。

その真ただ中で、それにも拘らずと言いましょか、神は私たちの思いと心を、キリストの内において平安にするのです。パウロは、キリストの内にある理解を超越した平安と言っています。

「私の周りの状況はワケが分からないけど、私にはこの平安がある。」

私が主との歩みの中で学んだのは、心に神からの「待った」がかかったなら、絶対に逆らわないこと。

それは、「何かがおかしい」「それに関して平安がない」という感覚で、聖霊様が平安の代わりに、あなたに再考を促しているのです。聖霊様があなたに「待った」をかけている。時にそれは「ダメ」であり、時に「止まりなさい」であり、時に「ペースを落とすなさい」、時に「待ちなさい」。そして平安がない。

神の御心と方法と時になるまでは、「前進しても良い」という平安が与えられません。

ヤコブ書3章、これは神の御心を知ることになる良い見本で、神から来たものか、そうでないのかを判断するために、全てを濾過することができるフィルターみたいなものです。

ヤコブ3:14-18

14 もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや利己的な思いがあるなら、自慢したり、真理に逆らって偽ったりするのはやめなさい。

15 そのような知恵は上から来たものではなく、地上のもの、肉的で悪魔的なものです。

16 ねたみや利己的な思いのあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。

サタンは混乱の創始者であることを私たちは知っています。

さてヤコブは17節で、それとは対照的な事を書いています。

17 しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実に満ち、偏見がなく、偽善もありません。

18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人々によって平和のうちに蒔かれるのです。

皆さんは今朝ここで、決断に直面しています。大きな決断です。

神の御心である事を知りたいなら、ここでヤコブが語っている事と照らし合わせてみて下さい。

まず、あなたの動機は純粋ですか？ 神からの平安がありますか？ 優しさ、協調性、憐み、良い実があります

か? 偏見や偽善はないですか?

それとも、あなたがしようとしている決断は、やや身勝手なものでしょうか? 利己的な動機ですか?

妬みはどうですか? 貪欲は?

ここの見本と照らし合わせて、平安を得るまでは動かないで下さい。時に、聖霊様が静かな小さい声で、あなたの霊に「これが道だ」と証しして下さる場合があります。それは私と聖霊様との間のもので、その決断に関する平安なのです。

御心を知る3方面からのアプローチ2) 「神の御言葉」

ところで、アプローチの3つは全てが互いに一致していて、1つだけで成り立つものではありません。

その事をすぐに見ます。コロサイ3:16に御心を知る2つ目の鍵があります。

コロサイ3:16 キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。

知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。

それは、神の御言葉によって。パウロは15節で「キリストの平和(平安)が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。」と言った後、「キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。(主のことばがあなたがたの心を支配するようにしなさい。)」と言っています。

彼は「神の平安は、御言葉によって裏付けられなければならない」と語っているのです。

こういう事です。御言葉は絶対に御心に反しません。逆に、御心は決して御言葉に反しないのです。

御言葉に反するなら、それは私の人生に対する神の御心ではないんだと安心できる。

それで、御言葉は神からの平安を確かにします。

詩篇119:105 あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です。

あなたが決断の岐路に立つ時、御言葉は語り、その状況や決断に光を当てるのです。

ヘブル4:12 神のことばは生きていて、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫く。

外科的にはそうです。つまり御言葉の中には、あなたへの特定の言葉がある。神はご自分の御心に関して、御言葉を通してあなたの人生に語られるのです。

御心を知る3方面からのアプローチ3) 「神の摂理」

私たちがひとたび神の平安を得、それが御言葉によって裏付けされているなら、神の摂理によって御心を知ることができます。神の摂理とは、神が私たちを用意された道へと導いている時、ご自分が扉を開き、そして閉じ、環境を調整し、歩みを演出する事。状況に重きを置きすぎると厄介な事になります。時に私たちは人生の状況によって、御心を見逃したり、誤解してしまう事があって、すなわち、物事が上手くいっていない時、「私は御心の中にいない」と解釈してしまう事があるのです。人生の試練のど真ん中にもいながらも、神の御心のど真ん中にある事が有り得るのに。

あの嵐の中、ガリラヤ湖にいた弟子たちのことを思います。イエス様は反対側に行くために、彼らを舟に乗せてガリラヤ湖に送り出しました。ネタバレ注意ですが、嵐が突然どこからともなく襲って来た時、彼らは溺れることなく反対側に辿り着きましたよ。

あなたは人生の嵐の中にいるかもしれませんが、人生に対する神の御心を、嵐に決めさせてはなりません。それどころか敢えて言わせてもらいますと、神があなたを導いているからだけでなく、あなたを正しい方向へと向け直しているから、その嵐の中にいるのかもしれませんが。

試練や困難の中にあると、最初の反応は、「神は私に怒っているに違いない」「神は私を罰しているのだ」「私は御心から外れているに違いない」違いますよ。必ずしもそうとは限らない。むしろ、神が望むところにあなたを連れて行くために、その事を許しておられるのかもしれませんが。

2002年、神は、まさに私にそれをなさいました。私は本土にいて、自分が開拓した教会の牧師をしており、全てが絶好調でした。すると前触れもなしに、神が物事をあまり良くない状態にし始めたのです。私たちがA地点で快適になり過ぎると、聞いた事があると思いますが、神は私たちを悩まされる事があるんです。もちろん神は苦しんでいる者を慰めて下さるけど。私たちが快適になり過ぎ、満足し過ぎると、神は嵐の中に送らざるを得ないのです。なぜなら、A地点が快適だったら、B地点に行く事はあり得ないと神はご存知だから。それで神はA地点を混乱させ、それだけでなく、B地点について考えさせるのです。

まさにそれが起こりました。突然私は、神が何か違う事をなさりたいのだと理解し始めたんです。私は本土のその所に腰をどしりと下していたので、神がそれが起こるのを許さないなら、私は決して思うはずがない事、「もしかしたら、神は私をオアフへ引越しさせるのかも」と感じ始めるようになりました。「主よ、ここに私がおります。お遣わし下さい。」誰かがやらなければならないんですよね。神があなたを召される時、このような場所に召してほしいと思うでしょう。私は、神が人生のひと区切りの扉を閉じ、別の扉を開いておられるように感じ、この教会を始めるために2003年にここに来ました。それから16年後の事は、皆さんご存知の通りです。神が環境をお膳立てして下さらなければ、私はこのような移動をしようなんて、決して思わなかった事でしょう。

ここで登場するのが祈りです。主に「私たちに対する主の御心が何であるのか示して下さい」と求めるのです。これは**箴言3章5-6節**で、皆さんがこれをよく知っている事は分かっていますよ。

私たちはこの御言葉を歌い、暗記します。しかし私は、もしかしたら皆さんが今まで考えたことがない事を指摘したいのです。

箴言3:5-6

5 心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

もっと深く見ていきましょう。もし主に道を導いてほしいと願うなら、3つの必須条件があります。

① 心を尽くして主に抛り頼め。

中途半端ではなく、信仰によって、主に完全に信頼しなければならない。

「主よ、私はあなたに信頼します。」そうしなければならない。これは信仰の大きな一歩です。

② 自分の悟りに頼るな。

これは興味深い。というのは自分が理解している時は、主に抛り頼みませんよね。分かっているから。私たちが主に抛り頼み、主に信頼するのは理解していない時です。いいですか。そのような全く理解できない状況が、人生には起こるんですよ。「主よ、何が起こっているのか理解できません!」

「それは良かった。それが肝心なんだ。あなたはいるべきところにいるのだから。あなたが物事を理解している時は、わたしを求め、委ね、信頼する事はない。だからわたしは厄介な状況を許す。あなたには全く理解できない事だよ。」

私たちがワシントン州のスポーケンからカイルアに引っ越すのは、地球上最も物価が安い所から、最も物価が高い所に来るという事で、しかも家はまだ売れていないし、それどころか、売れるのに引っ越ししてから1年以上かかったんです。その話はしませんよ。皆さん、泣いてしまうから。

OK。話しましょう。私が泣きたいから。16万5千ドル（約1754万円）で売れました。それだと、ハワイではトイレ1つさえも買えませんよ。すみません。今のはちょっと...

「主よ、全くワケが分かりません!」 「おお! どうやら、わたしに信頼しなければならないみたいだね。」

「そうです! 主よ、あなたに信頼します!」

③ あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。

言い換えると、あなたがする事の全て、行く所のどこにおいても主を認め、主を求める。それが祈り。私たちが祈るのはどんな時でしょうか。理解できない時、信頼しなければならない時ではないですか?

よく知られている事ですが、ヨギ・ベラ(有名な野球選手)はこう言いました。「分かれ道に来たなら、とにかく進め!」ありがとうございます。すごく助けになりましたよ。

私たちは「主よ、どっちに行ったらいいですか? 右ですか? 左ですか? 前に進むべきですか? 待つべきですか?」

どうか知って下さい。神はいつも私たちの祈りに応えて下さいます。しかしいつも、願っているように応えて下さるわけではありません。また私たちは自分が望む時に、神が応えて下さるように願います。

主が「よろしい」と祈りに応えて下さる。私は主が「よろしい」と言って下さるのが大好きです。

ああ、感謝します。ハレルヤ! 主をたたえます。

だけど時に、「ダメ」という答えが来る。「ダメ?! どうしてですか?」「わたしはあなたを守っているのだ。」ところで、祈っていて神が「駄目だ」と言われる時に思い浮かぶのは、「そんな祈りはしない方がいいぞ。やめときなさい。あなたはわたしに、それをして欲しくないはずだ。」

私はこのように言いたいのです。神が知っておられる事を、もし私たちが分かるなら(私たちには分からないのだけど)、神はいつも私たちが祈った通りにそのまま応えて下さるでしょう。

主は初めから終わりまでご存知です。私たちの祈りに応えて下さった事だけでなく、応えられなかった祈りに感謝した事はどれくらいあるのでしょうか。おお、主よ、感謝します。

私は祈りのノートを書いています。まだ祈りのリストやノートを書いていない人は是非やってみて下さい。私は30年以上それをやっていて、時々読み返して10年,15年,20年,30年前の祈りを見ると消したくなります。すると主が「その祈りをした事、覚えているかい?」「はい、覚えてます...」

「あなたが願ったようには応えられなかった事、感謝だろう?」「はい、主よ、本当に感謝します。もしあなたが、私が願ったように応えて下さっていたら悲惨でした。」

だから主は、「よろしい」或いは「駄目だ」と言われるのです。

そしてもちろん...「待ちなさい」。私はこれが大嫌い。待つのが嫌いなんです。あなたもですよ。だから、そんな目で見ないで下さい。待つより、「ダメだ」と言われる方がまだ良い。待つ事がどういう意味か知っていますか?「待つ」という事なんです!信頼しなければならないという事です。主を待ち望み、認め、信頼し、委ね、そして主が願っている道に私を導いて下さるのを待つ。それは「信仰で待つ」と呼ばれています。

愚かな者が間違えないように、時として、神がはっきりと示して下さるのが私は好きです。だって私は、それぐらいにはっきりと示してもらう必要があるから。そして神はそうして下さいます。私はそれを「紅海のような鮮明さ」と言っています。イスラエルの民が紅海に着いた時、背後にはエジプト人、前には紅海の絶体絶命。その時モーセが杖を差し出すと、主が紅海を真っ二つに分け、彼らは乾いた道を歩いて行きました。

いいですか。私もそこに立っています。私もイスラエルの民の1人で、エジプト人と紅海が立ちほだかっている。そして神が紅海を真っ二つに分けられた。これは、神が私を分かれた紅海の乾いた道を行かせようとしているという事が非常に明確です。すごくハッキリしているじゃないですか。

神が「紅海のような鮮明さ」で示して下さいるのが大好きです。

それほど明確に示すのがふさわしいと判断される時があるのです。

だけどそれ以外の時は、私たちはただ主に抛り頼まなければなりません。

信仰によって踏み出す。それは神を喜ばせること。信仰とはそういうものだから。

ヘブル11:1 信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ですから、見えるものによって歩くのではありません。神が大きな黄色い矢印で示してくれたら嬉しいですよ。「こっちへ行きなさい。」「分かりました。主よ、感謝します。」でも常にそうではありません。神は私たちがその角を曲がるまでは、私たちにして欲しいと願っている事を示さない時があるのです。

私は**箴言3:5-6**の別訳が好きです。基本的にこう言っているから。

5 心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

6 あなたの行く道すべてにおいて、主を認めよ（知れ）。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

主がまっすぐにして下さいます。ですが必須条件が3つあります。

①主に抛り頼まなければならない。それには信仰が要求されます。

②自分の状況に関して、自分の悟りに頼るな。

③全ての道で、全ての曲がり角で、主を認めなければならない。

「主よ、私はあなたを呼び求め、あなたに信頼し、あなたに目を向けています。」

そうすれば主は、「これが道だ。これに歩め。」と語って下さいます。

これで終わりにします。ある人が言いました。「時期が違っていると、神は『ペースを落とさなさい』と言われる。あなたが間違っていると『成長しなさい』と言われる。要求が違っていると『駄目だ』と言われる。しかし、時期もあなたも要求も正しいなら、神は『よし。』と言われる。」

ヘブル13:20-21

20 永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを、死者の中から導き出された平和の神が、
21 あらゆる良いものをもって、あなたがを整え、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。つまり、主の御心を行うために必要なものは何であれ、与えられるということ。
栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

祈りましょう。

お父様、感謝します。主よ、今日ここにおられるか、オンラインで見ている方で、人生の大きな岐路に立ち、あなたの御心を知りたいと願っている方のために祈ります。

主よ、その方たちの心が神の平安で支配され、御言葉の確証の下、重大な決断がなされますように。

あなたが摂理によって環境を整えて下さり、それによって「これが道だ」と分かり、信仰によって踏み出し、歩んでいきますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

~~~~~  
「きょう、もし御声を聞くなれば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージby JD Farag牧師

カルバリーチャペルカネオヘへ<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 Rumi